

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-338109

(43)Date of publication of application : 07.12.2001

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 13/00

(21)Application number : 2000-155654

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 26.05.2000

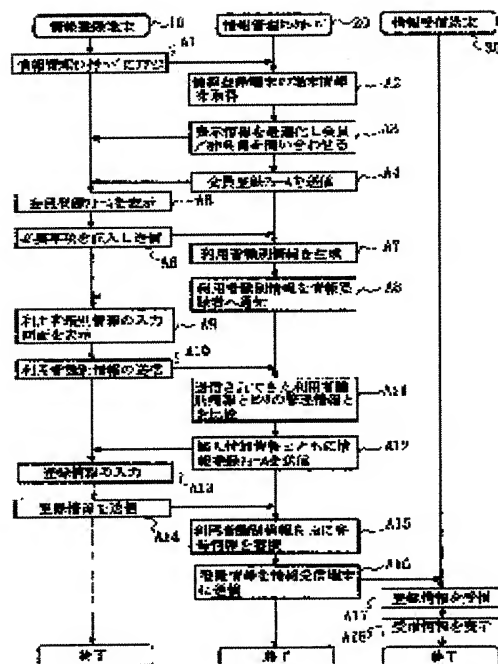
(72)Inventor : TSUKAHARA YASUAKI

(54) DESTINATION INFORMATION SHARING SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To automatically transmit disclosed destination information to various application terminals or to allow a user to read the information.

SOLUTION: The user registers timewise destination information in an information management center server 20 in real time from an information registering terminal 10 through a communication network 100. An information management center stores the received timewise destination information in the server 20 by a standardized format and unitarily manages the information in each user. The server 20 transfers the registered information to a third person specified by the user. The third person checks the transferred contents by an information receiving terminal 30 corresponding to the state. Or the third person permitted by the user can directly check the information registered in the server 20. A portable terminal including a portable telephone set and a personal computer are allowed to be used for the information registering terminal 10 and the information receiving terminal 30. In the case of registering or receiving information, the server 20 optimizes display information and a layout in accordance with the kind of these terminals 10, 30.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 13.04.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 09.03.2004

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2001-338109
(P2001-338109A)

(43)公開日 平成13年12月7日(2001.12.7)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
G 0 6 F 17/60	1 6 2	G 0 6 F 17/60	1 6 2 Z 5 B 0 4 9
	5 1 4		5 1 4
13/00	6 5 0	13/00	6 5 0 A

審査請求 有 請求項の数13 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願2000-155654(P2000-155654)

(22)出願日 平成12年5月26日(2000.5.26)

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 塚原 泰明

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株
式会社内

(74)代理人 100111729

弁理士 佐藤 勝春

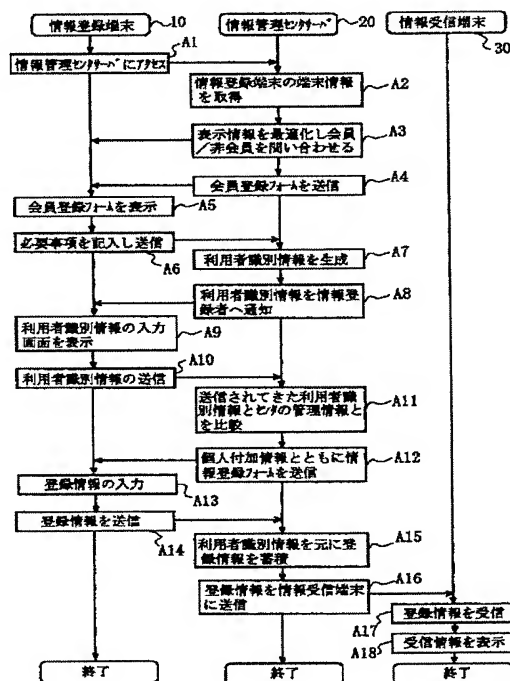
Fターム(参考) 5B049 CC02 CC32 DD01 FF03 FF04
FF07 GG04 GG06 GG07 GG10

(54)【発明の名称】 行先情報共有システム

(57)【要約】

【課題】 公開された行先情報を様々な利用端末に自動送信または閲覧許可する。

【解決手段】 利用者が時間的行先情報を情報登録端末10から通信ネットワーク100を介して、リアルタイムに情報管理センタサーバ20に登録する。情報管理センタでは、受け取った時間的行先情報を情報管理センタサーバ20に標準化されたフォーマットで蓄積し、利用者単位に一元管理する。情報管理センタサーバ20は、利用者が指定する第三者に登録情報を転送する。第三者は転送されてきた内容を、その状況に応じた情報受信端末30により確認する。もしくは、利用者が許可する第三者は、情報管理センタサーバ20の登録情報を直接確認することができる。情報登録端末10、情報受信端末30は、携帯電話機を含む携帯端末やパーソナルコンピュータであってもよい。情報管理センタサーバ20では、情報の登録および受信の際、情報登録端末10、情報受信端末30毎にその種別に応じて表示情報およびレイアウトを最適化する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 情報登録端末、情報管理センタサーバおよび情報受信端末を通信ネットワークで相互に接続した行先情報共有システムにおいて、

前記情報管理センタサーバは、前記通信ネットワーク上で情報登録サービスを提供し、これを利用する前記情報登録端末に情報登録画面を表示させ、その情報登録画面上で利用者によって登録された行先情報と転送先を含む付加情報とを蓄積・管理するとともに、前記行先情報および前記付加情報を前記転送先の情報受信端末に自動的に送信することを特徴とする行先情報共有システム。

【請求項 2】 情報登録端末、情報管理センタサーバおよび情報受信端末を通信ネットワークで相互に接続した行先情報共有システムにおいて、前記情報管理センタサーバは、前記通信ネットワーク上で情報登録サービスを提供し、これを利用する前記情報登録端末に情報登録画面を表示させ、その情報登録画面上で利用者によって登録された行先情報と転送先を含む付加情報とを蓄積・管理するとともに、当該情報管理センタサーバへのアクセス方法および前記登録情報の更新を前記転送先の情報受信端末に送信し、該情報受信端末からアクセスがあると前記行先情報および前記付加情報をその情報受信端末に送信することを特徴とする行先情報共有システム。

【請求項 3】 情報登録端末、情報管理センタサーバおよび情報受信端末を通信ネットワークで相互に接続した行先情報共有システムにおいて、前記情報管理センタサーバは、前記通信ネットワーク上で情報登録サービスを提供し、これを利用する前記情報登録端末に情報登録画面を表示させ、その情報登録画面上で利用者によって登録された行先情報と転送先を含む付加情報とアクセス許可情報とを蓄積・管理するとともに、前記アクセス許可情報を当該情報受信端末に送信し、前記アクセス許可情報によって許可された情報受信者から前記情報受信端末を利用してアクセスがあると前記行先情報の閲覧を許可することを特徴とする行先情報共有システム。

【請求項 4】 前記情報登録端末および情報受信端末は、携帯電話機を含む携帯端末またはパーソナルコンピュータであることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 3 のいずれかに記載の行先情報共有システム。

【請求項 5】 前記情報管理センタサーバが前記情報登録端末に情報登録画面を表示させるために送信する表示情報は、当該情報登録端末の種別に応じて最適化されることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 4 のいずれかに記載の行先情報共有システム。

【請求項 6】 前記情報管理センタサーバが前記情報受信端末に送信する情報は、当該情報受信端末の種別に応じて最適化されることを特徴とする請求項 2 ないし請求項 5 のいずれかに記載の行先情報共有システム。

【請求項 7】 前記情報管理センタサーバは、受け取った行先情報を GIS と連携した空間情報と合わせて管理することを特徴とする請求項 1 ないし請求項 6 のいずれかに記載の行先情報共有システム。

【請求項 8】 情報管理センタサーバは、利用者識別情報を元に登録頻度の多い行先情報に関してブックマーク化して管理し、同一利用者による再度のアクセス時に個人付加情報として前記情報登録端末に提示することを特徴とする請求項 1 ないし請求項 7 のいずれかに記載の行先情報共有システム。

【請求項 9】 前記アクセス方法および前記登録情報更新の転送先の情報受信端末と、これを受けて前記情報管理センタサーバにアクセスしてくる情報受信端末とが異なることを特徴とする請求項 2、または請求項 4 ないし請求項 8 のいずれかに記載の行先情報共有システム。

【請求項 10】 情報登録端末、情報管理センタサーバおよび情報受信端末を通信ネットワークで相互に接続した情報通信システムにおける行先情報共有方法において、前記情報管理センタサーバは、前記通信ネットワーク上で情報登録サービスを提供する手順と、これを利用する前記情報登録端末に情報登録画面を表示させる手順と、その情報登録画面上で利用者によって登録された行先情報と転送先を含む付加情報とを蓄積・管理する手順と、前記行先情報および前記付加情報を前記転送先の情報受信端末に送信する手順とを有することを特徴とする行先情報共有方法。

【請求項 11】 情報登録端末、情報管理センタサーバおよび情報受信端末を通信ネットワークで相互に接続した情報通信システムにおける行先情報共有方法において、前記情報管理センタサーバは、前記通信ネットワーク上で情報登録サービスを提供する手順と、これを利用する前記情報登録端末に情報登録画面を表示させる手順と、その情報登録画面上で利用者によって登録された行先情報と転送先を含む付加情報とを蓄積・管理する手順と、当該情報管理センタサーバへのアクセス方法および前記登録情報の更新を前記転送先の情報受信端末に送信する手順と、該情報受信端末からアクセスがあると前記行先情報および前記付加情報をその情報受信端末に送信する手順とを有することを特徴とする行先情報共有方法。

【請求項 12】 情報登録端末、情報管理センタサーバおよび情報受信端末を通信ネットワークで相互に接続した情報通信システムにおける行先情報共有方法において、前記情報管理センタサーバは、前記通信ネットワーク上で情報登録サービスを提供する手順と、

これを利用する前記情報登録端末に情報登録画面を表示させる手順と、

その情報登録画面上で利用者によって登録された行先情報と転送先を含む付加情報とアクセス許可情報とを蓄積・管理する手順と、

前記アクセス許可情報を当該情報受信端末に送信する手順と、

前記アクセス許可情報によって許可された情報受信者から前記情報受信端末を利用してアクセスがあると前記行先情報の閲覧を許可する手順とを有することを特徴とする行先情報共有方法。

【請求項13】 請求項10、請求項11または請求項12の行先情報共有方法を情報管理センターサーバに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み込み可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、利用者が自己の過去・現在・今後の時間的先行情報を公開する行先情報共有に関する。

【0002】

【従来の技術】この種の従来技術の例が、特開平10-214292号公報に、「コンタクト手段公開装置」として記載されている。この技術は、オフィスに属する人達の現在位置を同僚達に知らせるためにこれまで使用されていた黒板やホワイトボードに代わって、クライアントサーバシステムを使用したものである。このシステムでは、例えば、ユーザAはクライアント計算機を操作して自分の行動予定をサーバ計算機に登録する。サーバ計算機と各クライアント計算機とは広域通信ネットワークで接続されている。他のユーザBがユーザAに至急連絡しなければならないとき、ユーザBは自分のクライアント計算機で、ユーザAが登録した予定データを閲覧することにより、ユーザAの現在の居場所を知ることができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、近年、携帯電話等の携帯端末やパソコンの普及に伴って、電子メール利用者が急増し、また通信ネットワークを介して他人と連絡を取るコミュニケーション手段が多様化している現在、これらのメディアを利用してより便利な連絡手段を確立することが期待されている。そして、これを可能にするインターネット等の通信ネットワーク基盤技術も成熟している。

【0004】しかしながら、上述した従来技術では、その人およびその状況下における利用端末が限定されているため、連絡をとる双方の間で利用条件が合わない、コミュニケーションができないという第1の問題点がある。例えば、双方の連絡手段が携帯電話機によるものであれば、双方が携帯電話機の利用可能な地域にいないと目的は成立しない。また電子メールを利用するのであ

れば、常に送受信できる端末を所持、もしくはそれを利用できる状況下にいないなければならない。

【0005】また、上述した従来技術では、ある特定者の行先を知る必要がある者の範囲が予め分かっている場合にも、行先を知りたい者がサーバ計算機に登録された予定データを閲覧しなければならないため、効率が悪いという第2の問題点がある。

【0006】本発明の第1の目的は、様々な利用端末にも対応できる行先情報共有システムおよび行先情報共有方法を提供することにある。

【0007】本発明の第2の目的は、公開された行先情報を所定の者に自動的に送信する行先情報共有システムおよび行先情報共有方法を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】第1の本発明の行先情報共有システムは、情報登録端末(10)、情報管理センターサーバ(20)および情報受信端末(30)を通信ネットワーク(100)で相互に接続した行先情報共有システムにおいて、情報管理センターサーバ(20)は、通信ネットワーク(100)上で情報登録サービスを提供し、これを利用する情報登録端末(10)に情報登録画面を表示させ、その情報登録画面上で利用者によって登録された行先情報(21)と転送先を含む付加情報とを蓄積・管理するとともに、行先情報(21)および付加情報を転送先の情報受信端末(30)に自動的に送信することを特徴とする。

【0009】第2の本発明の行先情報共有システムは、情報登録端末(10)、情報管理センターサーバ(20)および情報受信端末(30)を通信ネットワーク(100)で相互に接続した行先情報共有システムにおいて、情報管理センターサーバ(20)は、通信ネットワーク(100)上で情報登録サービスを提供し、これを利用する情報登録端末(10)に情報登録画面を表示させ、その情報登録画面上で利用者によって登録された行先情報(21)と転送先を含む付加情報とを蓄積・管理するとともに、当該情報管理センターサーバ(20)へのアクセス方法および登録情報の更新を転送先の情報受信端末(30)に送信し、該情報受信端末(30)からアクセスがあると行先情報(21)および付加情報をその情報受信端末(30)に送信することを特徴とする。

【0010】第3の本発明の行先情報共有システムは、情報登録端末(10)、情報管理センターサーバ(20)および情報受信端末(30)を通信ネットワーク(100)で相互に接続した行先情報共有システムにおいて、情報管理センターサーバ(20)は、通信ネットワーク(100)上で情報登録サービスを提供し、これを利用する情報登録端末(10)に情報登録画面を表示させ、その情報登録画面上で利用者によって登録された行先情報(21)と転送先を含む付加情報とアクセス許可情報とを蓄積・管理するとともに、アクセス許可情報を当該情報受信端末(30)に送信し、アクセス許可情報によって許可された情報受信者から情報受信端末(30)を利用してアクセスがあると行先情報(21)の閲覧

を許可することを特徴とする。

【0011】本発明は、利用者が自分自身の時間的行先情報を利用端末からネットワークを介して、リアルタイムに情報管理センタに登録し、第三者にその時間的な行先情報を知らせる方法を提供するものである。利用者は、その状況に応じた利用端末(情報登録端末10)を用いて、伝えたい自分自身の時間的行先情報を通信ネットワーク100を介して情報管理センタに送信する。または、時間的行先情報を直接に送信せず、先ずアクセス方法(URL:Uniform Resource Locator)のみを送信するようにしてもよい。情報管理センタでは、受け取った時間的行先情報を情報管理センタサーバ(20)に標準化されたフォーマットで蓄積し、利用者単位に一元管理する。このとき、GISと連携した空間情報と合わせて行先情報を管理してもよい。

【0012】情報管理センタサーバ(20)では、利用者ごとの登録履歴を元に、登録頻度の多い場所情報に関しては、ブックマーク化しておき、再度の利用時の登録を簡易にすることもできる。情報管理センタサーバ(20)は、利用者が指定する第三者に登録情報を転送する。第三者は転送されてきた内容を、その状況に応じた利用端末(情報受信端末30)により確認する。もしくは、利用者が許可する第三者に関しては、情報管理センタサーバ(20)の登録情報を直接確認することができる。

【0013】利用端末は、携帯電話機を含む携帯端末やパーソナルコンピュータであってもよい。情報管理センタサーバ(20)では、情報の登録および受信の際、利用端末(情報登録端末10、情報受信端末30)毎にその種別に応じて表示情報およびレイアウトを最適化する。

【0014】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0015】本発明の一実施の形態の構成を示す図1を参照すると、本構成は情報登録端末10、情報管理センタサーバ20、情報受信端末30およびこれらを相互に接続するインターネット等の通信ネットワーク100から構成されている。

【0016】情報登録端末10は、携帯電話機を含む携帯端末、パーソナルコンピュータ等のネットワーク通信可能な情報装置である。情報登録端末10は、情報管理センタサーバ20が通信ネットワーク100上で提供している情報登録サービスにアクセスし、情報登録画面を表示する機能を有する。利用者は、その情報登録画面上で必要な情報を登録する。登録内容としては、利用者の時間的行先情報および利用者識別情報、転送先(メールアドレス)、メッセージ、登録情報の保管期間等の付加情報を含む。ここで、時間的行先情報とは過去・現在・今後の時間別の行先情報をいう。すなわち、現在の行先情報だけでなく、今後の予定、更には過去の行先情報をも含むのである。このような行先情報も、意義がある場合があ

るからである。なお、本発明では、ビジネスシーンだけでなく、友人、知人、家族等の間での行先情報の共有を扱う。

【0017】情報管理センタサーバ20は、サービス提供者により管理され、ワークステーション・サーバ等の情報処理装置によって構成される。情報管理センタサーバ20は、サービス利用者により情報登録端末10から送信された行先情報を受け取り、標準化されたフォーマットで蓄積し利用者識別情報により一元管理する。このため、情報管理センタサーバ20はデータベース機能を有する。特に、利用者ごとの履歴情報を元に登録頻度の多い場所に関しては、“お気に入り情報”のような形で保有し、同一利用者による再度のアクセス時に、情報登録端末10にその情報を利用者ごとの個人付加情報として提示する。これにより、利用者は、“お気に入り情報”の中から所定の情報を選択すればよく、いちいち登録しなくてもよくなる。登録された行先情報は、利用者が指定する情報受信端末30に電子メール等で通信ネットワーク100を介して転送する。

【0018】情報管理センタサーバ20では、情報登録端末10による情報登録の際、情報登録画面を表示するための表示情報を情報登録端末10毎に最適化して転送する機能を有する。最適化とは、情報登録端末10の特徴、例えば携帯電話機であれば表示画面が小さくメモリも小容量である、またパーソナルコンピュータであればその逆でありキーボードのキーの種類も多いということ等に整合するような表示情報とすることをいう。また、GIS(Geographical Information System:地図情報システム)と連携して利用者による詳細な空間情報の指定をサポートする機能も有する。GISとは、周知のように、地図に関する属性情報をコンピュータを利用して解析するシステムである。更に、情報管理センタサーバ20は、利用者が許可する情報受信者に関しては、情報管理センタサーバ20で管理している登録情報の閲覧を許可する。

【0019】情報受信端末30は、携帯電話機を含む携帯端末、パーソナルコンピュータ等のネットワーク通信可能な情報装置であり、情報受信者がその状況に応じて使い分ける。情報受信端末30は、情報管理センタサーバ20より送信された利用者の行先情報を受け取る。

【0020】次に、第1の実施例の動作について図2を参照して詳細に説明する。

【0021】情報登録者は、自身の情報登録端末10を用いて、情報管理センタサーバ20が公開している情報登録WEBサイトにアクセスする(図2のステップA1)。情報管理センタサーバ20では、情報登録端末10の端末情報を取得し、情報登録端末10に転送する表示情報およびレイアウトを最適化する(A2)。そして、情報登録者に会員であるか非会員であるかを問い合わせる(A3)。以降の情報管理センタサーバ20から情報登録端末10への表示情報の転送の際も同様に、常に情報登録端末10に最適化した状態

で転送するものとする。

【0022】情報登録者が非会員である場合、情報管理センタサーバ20は、会員になるための登録フォームを情報登録端末10に送信する(A4)。ここでの登録フォームは、WEBによるオンライン入力を想定しているが、電子メール等による処理も可能である。情報登録者は、表示された(A5)会員登録フォームに必要事項を入力し、折り返し情報管理センタサーバ20に送信する(A6)。情報管理センタサーバ20は、送られてきた会員登録情報を確認後、識別番号を割り振り、利用者識別情報を生成する(A6)。

【0023】次いで、生成した利用者識別情報を情報登録者に通知する(A8)。次回以降のアクセスでは、本会員登録の動作(A4～A8)は省略される。

【0024】情報登録者が会員である場合、情報登録端末10は利用者識別情報の入力画面を表示する(A9)。情報登録者は、情報登録端末10に自身の利用者識別情報を入力し、情報管理センタサーバ20に送信する(A10)。情報管理センタサーバ20では、入力された識別情報を確認し(A11)、問題が無ければ利用者ごとの個人付加情報と共に情報登録フォームを情報登録端末10に送信する(A12)。個人付加情報は、利用者の履歴情報を元に登録頻度の多い場所に関しては、“お気に入り情報”のような形で保有し、再度のアクセス時に、その内容を個人付加情報として提示する。

【0025】情報登録者は、表示された情報登録フォームに時間情報、空間情報(行先情報)、伝えたい相手(転送先)、メッセージ、登録情報の保管期間などの登録情報を入力し(A13)、情報管理センタに登録情報を通信ネットワーク100を介して送信する(A14)。このとき、情報管理センタサーバ20をGISと連携させておくことにより、情報登録者は空間情報に関してより詳細かつ正確な指定が可能である。

【0026】情報管理センタサーバ20では、情報登録端末10より送信された情報を利用者識別情報を元に蓄え管理する(A15)。次いで、情報管理センタサーバ20は、情報登録者が指定する情報受信端末30に登録情報を電子メールなどを利用して転送する(A16)。電子メールの内容は、暗号化等を施す運用も可能である。

【0027】情報受信者は、情報管理センタサーバ20より送られてきた情報登録者の登録情報を情報受信端末30によって受け取り(A17)、表示する(A18)ことで、情報登録者の時間的行先情報を知ることができる。なお、ここでは、登録情報は直接電子メールにより通知されることを想定している。

【0028】次に、本発明の第2の実施例について説明する。

【0029】本発明の第2の実施例は、情報登録者が情報管理センタサーバ20に行先情報を登録した後に、登録情報を情報受信端末30に送信する際、第1の実施例にお

けるように登録情報の内容を電子メール等で直接通知するのではなく、登録情報が更新されたこと、および情報管理センタサーバ20上でのアクセス方法(URL)を情報受信端末30に通知するようにした点で第1の実施例と異なる。

【0030】情報管理センタサーバ20は、情報登録端末10から受け取った登録情報を直接、情報受信端末30に送信しないで、情報管理センタサーバ20に蓄積後、そのアクセス方法(URL)のみを情報受信者に提供する。情報管理センタサーバ20では、情報登録端末10による情報登録および情報受信端末30による情報受信の際、各々利用端末毎に表示情報を最適化して転送する。

【0031】情報受信端末30は、情報管理センタサーバ20より登録情報の更新通知を受け取る。情報受信端末30は、情報管理センタサーバ20にアクセスし、登録情報を情報受信端末30に表示する機能を有する。情報管理センタサーバ20より更新通知を受け取る情報受信端末30と、情報管理センタサーバ20にアクセスし登録情報を表示する情報受信端末20は、異なる端末を利用することができ、その状況に応じて情報受信者により選択できる。

【0032】第2の実施例の動作について図3を参照して詳細に説明する。

【0033】本実施例では、情報登録者が会員登録をし、情報管理センタサーバ20に行先情報を登録するまでの動作(B1～B8)は、第1の実施例の動作(A1～A15)と同様である。ただし、本実施例では、会員登録の動作(A2～A8)は重複説明を回避するため省略してある。

【0034】情報管理センタサーバ20は、登録内容に更新があったことを情報受信端末30に転送する(B9)。なお、更新には初期登録も含む。情報受信者は、情報管理センタサーバ20より送られてきた更新通知、および登録情報へのアクセス方法(URL)を情報受信端末30によって受け取る(B10)。そして、情報管理センタサーバ20へのアクセス方法(URL)を確認後(B11)、情報管理センタサーバ20にアクセスする(B12)。情報管理センタサーバ20では、情報受信端末30の端末情報を取得し(B13)、登録情報を最適化した後、情報受信端末30に転送する(B14)。情報受信者は、登録情報を情報受信端末30で受け取り、表示する(B15)。

【0035】以上のように、本実施の形態では情報受信者に行先情報の更新および登録情報へのアクセス方法(URL)のみを通知することで、情報管理センタサーバ20に登録された情報を異なる情報受信端末30で確認できる。例えば、情報受信端末30が携帯端末のような表示に制限があるような端末において登録情報の情報量が多い場合、更新通知のみを受け取り、後で他の情報受信端末で情報を確認するということも可能となる。

【0036】次に、本発明の第3の実施例について説明する。

【0037】第3の実施例は、情報登録者が情報管理セ

ンタサーバ20に登録した情報を、情報登録者が許可する情報受信者が、情報管理センタサーバ20にアクセスし自由に閲覧できる点で第1の実施例とは異なる。第2の実施例とは、情報受信者が知ることができるのは更新通知のあった情報だけではないという点で異なる。

【0038】情報管理センタサーバ20は、情報登録端末10から受け取った登録情報を情報管理センタサーバ20に蓄積するだけで、情報受信端末30に登録情報の送信、さらには登録情報の更新についても情報受信端末30に通知しない。代わりに、情報管理センタサーバ20は、情報受信端末30より要求があった場合にのみ、情報受信端末より送信されてきたアクセス許可情報を確認し、問題が無いようであれば情報受信者が指定する情報登録者の行先情報を情報受信端末30に送信する。情報受信端末30は、アクセス許可情報を元に情報管理センタサーバ20にアクセスし、登録情報を情報受信端末30に表示する機能を有する。

【0039】次に、第3の実施例の動作について図4を参照して詳細に説明する。本説明では、情報登録者が会員登録をし、情報管理センタサーバ20に行先情報を登録するまでの動作(A2～A14)は省略する。

【0040】情報登録者は、情報登録端末10より情報受信者のアクセス許可を申請すべく、情報管理センタサーバ20にアクセスする(C1)。情報管理センタサーバ20は、情報登録端末10にアクセス許可登録を促すフォームを送信する(C2)。ここでの登録フォームは、WEBによるオンライン入力を想定しているが、電子メール等による処理も考えられる。情報登録者は、情報登録端末10にアクセス許可登録フォームを表示し(C3)、情報登録端末10より、アクセスを許可する情報受信者等の必要事項を登録フォームに入力し、折り返し情報管理センタサーバ20に送信する(C4)。

【0041】情報管理センタサーバ20は、受け取ったアクセス許可に関する情報を元に、情報受信者が情報管理センタサーバ20にアクセスしてきた際に情報登録者により許可されている情報受信者であるかを識別するための情報として、アクセス許可情報を生成する(C5)。

【0042】次いで、生成したアクセス許可情報を情報受信者に通知する(C6)。情報受信者は、情報管理センタサーバ20よりアクセス許可情報を受け取る(C7)。アクセス許可情報を確認(C8)後、許可情報を元に情報管理センタサーバ20にアクセスする(C9)。情報管理センタサーバ20では、情報受信端末30の端末情報を取得する(C10)。

【0043】次いで、情報受信者より送信されてきたアクセス許可情報(C11)と情報管理センタサーバ20で保持している情報とを比較し(C12)、問題が無いようであれば、登録情報を最適化した後、情報受信端末30に登録情報を送信する(C13)。情報受信者は、情報受信端末30より送られてきた登録情報を情報受信端末30によって受け取り、情報登録者の行先情報を表示する(C14)。

【0044】以上のように、本実施例には、情報登録者がある特定の情報受信者に対して、情報管理センタサーバ20に蓄積されている登録情報へのアクセスを許可することにより、情報受信者は、登録情報をいつでも自由に閲覧することができるというメリットがある。特に、行先情報が時々刻々と更新されるような場合には、その都度、情報管理センタサーバ20より情報受信者へ通知するのではなく、情報受信者が確認したいときに、情報管理センタサーバ20にアクセスするだけでよい。また、本実施例は、情報受信者が更新通知を受け取れないような状況下にある場合にも有効である。一方、無制限な閲覧を禁止することにより、プライバシーの保護をも図っている。

【0045】なお、以上に説明したそれぞれの行先情報共有方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを半導体メモリ、フロッピー（登録商標）ディスク、CD-ROM等の記録媒体に記録して、情報登録端末、情報センタサーバおよび情報受信端末に読み込ませて実行させるようにしてもよい。それらのプログラムは、情報登録端末、情報センタサーバおよび情報受信端末を制御し、図2、図3および図4のフローチャートで示した処理と同様な処理を行う。

【0046】

【発明の効果】第1の効果は、利用者はネットワーク通信可能な端末さえあれば、どこからでも自由に場所情報を登録でき、指定する第三者にその情報を通知することができるということである。その理由は、利用端末はネットワーク通信可能な端末であれば携帯端末であってもパーソナルコンピュータであっても、通信ネットワーク基盤を用いてどこからでも情報管理センタサーバにアクセスすることが可能であるためである。

【0047】第2の効果は、情報登録者より登録情報へのアクセスを許可されている情報受信者は利用端末さえあればどこからでも自由に情報登録者の場所情報を取得でき、その行き先を確認できるということである。その理由としては、利用端末はネットワーク通信可能な端末であれば携帯端末であってもパーソナルコンピュータであっても、通信ネットワーク基盤を用いてどこからでも情報管理センタサーバにアクセスすることが可能であるためである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態の構成図

【図2】本発明の第1の実施例のフローチャート

【図3】本発明の第2の実施例のフローチャート

【図4】本発明の第3の実施例のフローチャート

【符号の説明】

10 情報登録端末

20 情報管理センタサーバ

21 行先情報

22 G I S

(7)

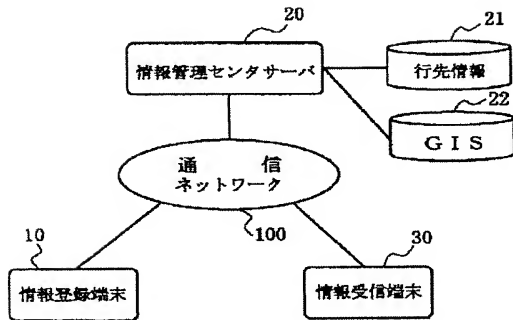
特開2001-338109

30

情報受信端末

11

【図1】

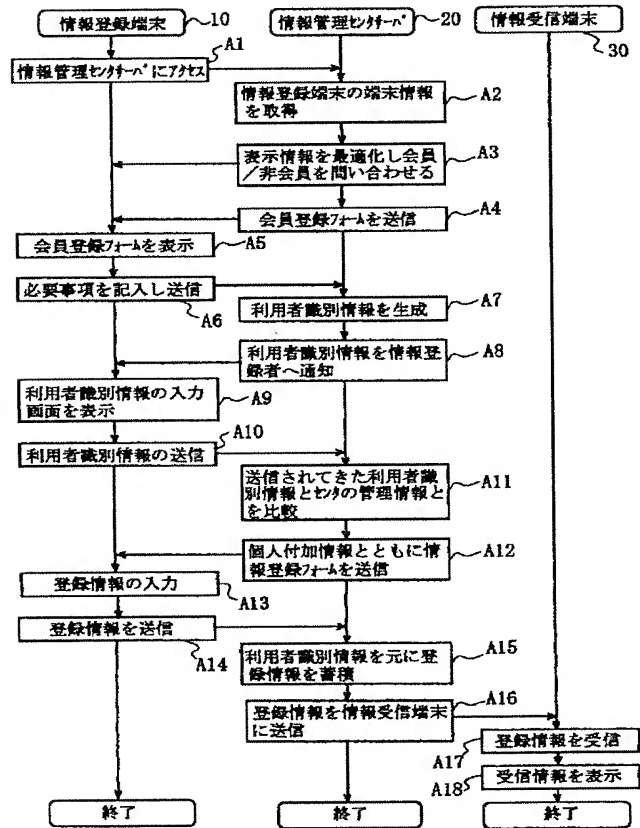


* * 100

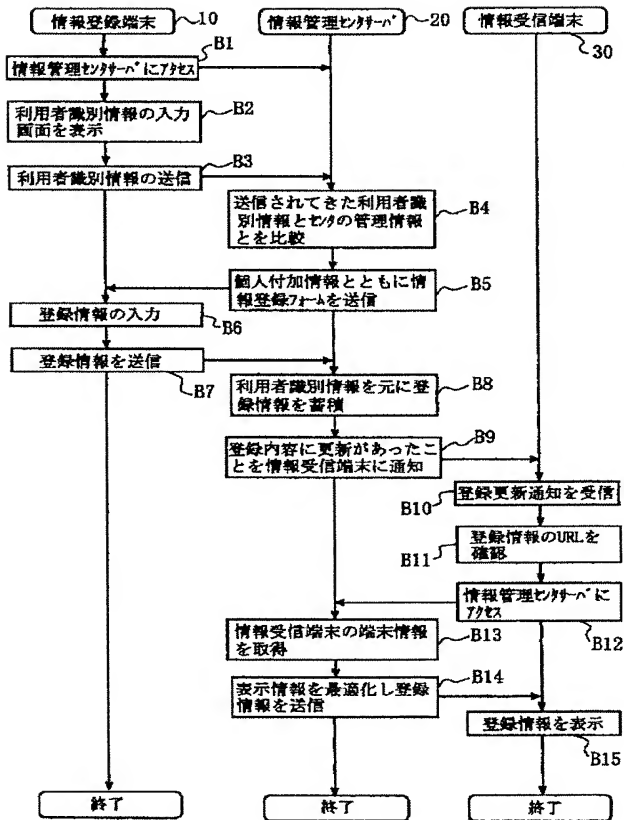
通信ネットワーク

12

【図2】



【図3】



【図4】

